

企業を知る手段としてよく利用される就職情報会社などが運営する就職情報サイトおよびその特徴などが紹介されています。

読売新聞 2013.10.29 第3種郵便物認可

就活ON!

毎週火曜掲載

就職情報サイト

Topics トピックス

特徴把握し上手に活用

企業を知る手段として、例年、多くの学生が、就職情報会社などが運営する就職情報サイトを利用しています。12月1日の2015年卒（現3年生）の就職活動の解禁を前に、どんなサイトがあるのか探ってみました。（関仁巨）

1万社超掲載も

就職情報サイトの多くは、業種や地域、キーワードなどで企業を検索する機能を備え、事業内容や採用方針などの個々の企業情報を載せています。会員登録すると企業説明会の案内などが届きます。掲載企業数が多いのは「リクナビ」「マイナビ」など。年間1万社以上の求人情報を掲載し、自己分析などの就活対策の記事も豊富です。文化放送キャリアパートナーズの「ブンナビ」は、学生の企業研究用に、『会社四季報』などのデータに基づき、資本金や売上高、新入社員定着率、30歳平均賃金などの各種ランキングを掲載。複数の

企業のデータを比較する機能も備えています。エン・ジャパンの「en」学生の就職情報」は、以前は大企業も扱っていましたが、2010年に中堅・中小・ベンチャー企業を専門とするサイトに移行しました。「中堅・中小企業に対する関心はあ

るものの、調べ方がわからない」という学生が多かったため、スタイルを変えたと同

対象の業種や学生を限定し

業種や学生を限定し

社的小川泰正さんは説明し

ます。

掲載企業は年間10000社。企業ごとの違いを学生が把握しやすいよう社員育成、独自性、収益力、社会貢献度、情報開示の姿勢の5項目に関し、同社が評価した結果を載せていることも特徴です。

文芸春秋社の若手編集者を招いて開かれたマスマスディアン主催のセミナー（15日、東京都港区）



全国の中小企業家同友会の共同サイト「ジョブウェイ」は、各地の加盟企業の求人や説明会の情報を掲載。厚生労働省の「大卒等就職情報WEB提供サービス」でも、全国の中小企業の求人情報や説明会、各種セミナーの情報を得ることが出来ます。ほかにも、地域の企業を専門に扱ったものなど、様々な情報サイトがあります。

3年生の就活開始まであと1か月。自分に役立ちそうなサイトは、どこか。どんな使い方ができるのか。今のうちに確認しておきましょう。

主な就職情報サイト	特徴
運営会社(団体)	
リクナビ	練習問題などSPI(適性検査)対策が充実
リクルートキャリア	会社説明会、セミナーなどを動画で配信
マイナビ	日本経済新聞電子版の用語解説など閲覧できる
マイナビ	SPIの全国統一模試をウェブ上で実施
日経就職ナビ	「会社四季報」などの企業データを活用
ダイヤモンド就活ナビ	中堅・中小・ベンチャー企業が専門
ダイヤモンドビッグ&リード	広告会社やマスコミ志望者などが対象
ブンナビ	外資系企業や総合商社などの志望者が対象
文化放送キャリアパートナーズ	体育会所属の学生が対象
en 学生の就職情報	同団体の加盟企業の求人情報を掲載
エン・ジャパン	
マスマス	
マスマスディアン	
外資就活ドットコム	
ハウテレビジョン	
体育会ナビ	
ガーディアンシップ	
ジョブウェイ	
中小企業家同友会	

就職情報サイトを上手に活用しよう